

6 整備編

6-1 動力伝達システム

[1] マニュアルモード付 ECVT

■ 車上点検

<油圧点検>

- ・スバルセレクトモニター (SSM) を接続し、セカンダリー圧を点検する。(従来の ECVT は、オイルプレッシャゲージ (ST) によりライン圧を測定)

基準値: 1.8MPa {18kg/cm²}

テスト順については、「VIVIO スポーツシフト電子制御装置故障診断書'97.5」を参照

<ストールテスト>

エンジン型式	ストール回転基準値
EN07X	2300rpm

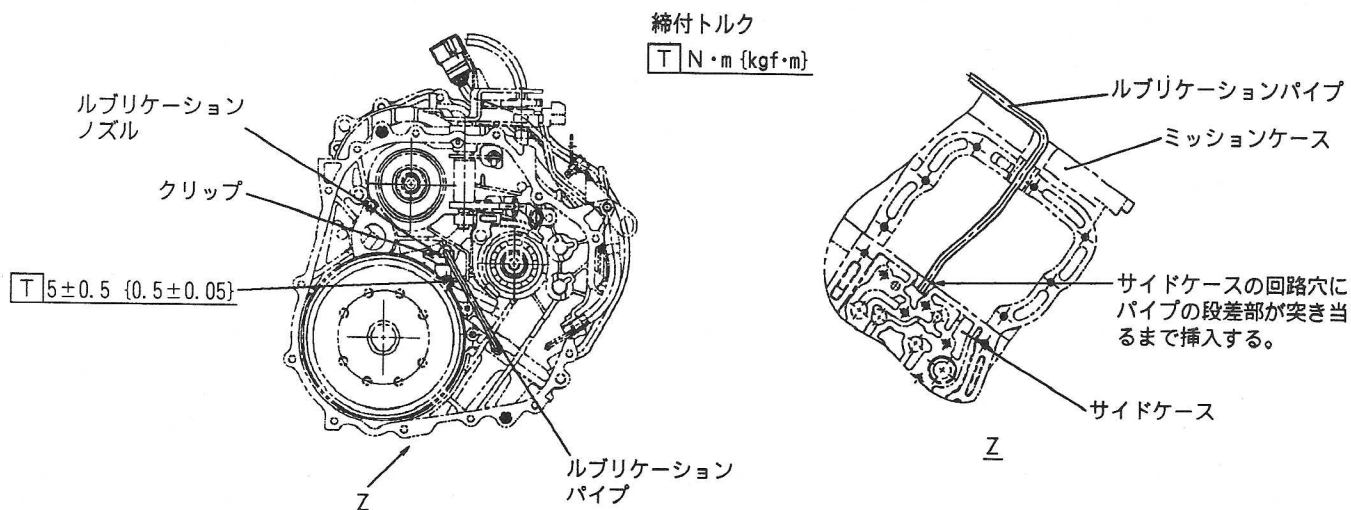
[上記以外の車上点検は、「'92.3Vivio 整備解説書 (中)」を参照して下さい。]

■ トランスミッション脱着

注) トランスミッション脱着の際、回転センサー、油圧センサーは損傷し易いので他部品を接触させないこと。

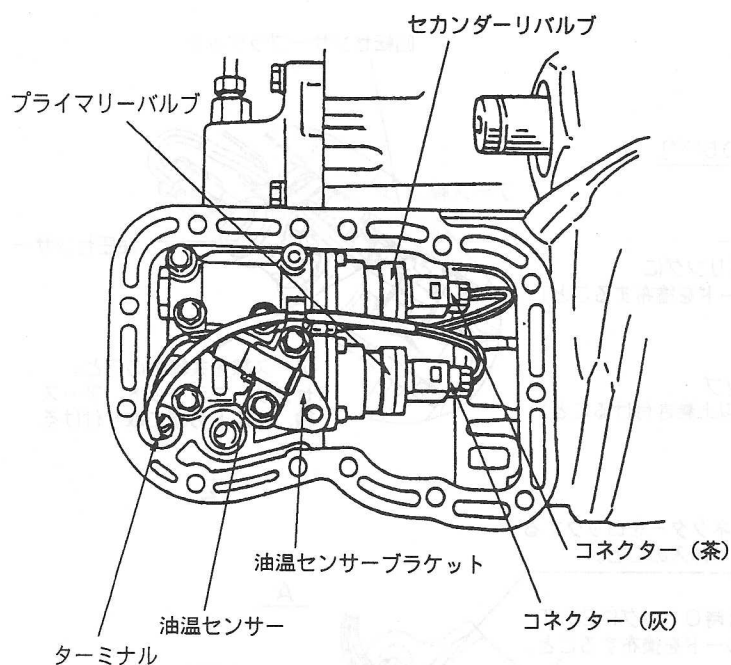
■ 整備要領

- (1) ピトーパイプ廃止に伴ない、プーリー交換はオイルポンプを外さなくても作業出来る。
- (2) ルブリケーションパイプ



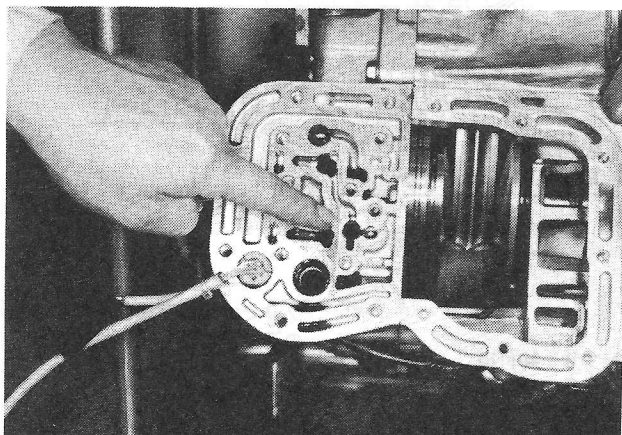
注) ルブリケーションパイプは、ミッションケースとサイドケースを跨って組付けられており、ミッションケースとサイドケースを分離する際はかならずルブリケーションパイプを外してから行うこと。

(3) プライマリーバルブ、セカンダリーバルブ脱着



<分解>

- ① コネクターを取り外す。
- ② 油圧センサー、油温センサーブラケットを取り外す。
- ③ プライマリーバルブ、セカンダリーバルブを取り外す。
- ④ セパレータープレートを取り外す。



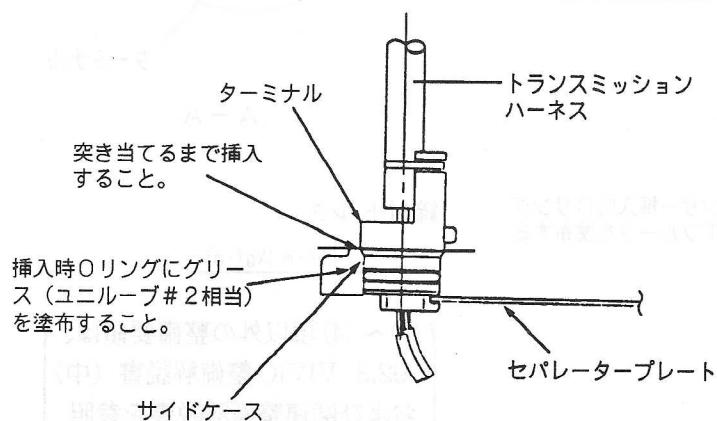
注意 セパレータープレートを取り外すと、サイドケースの穴（写真中央）よりフィルターが外れる事がある。特に車載状態での整備では紛失に注意すること。

<組立て>

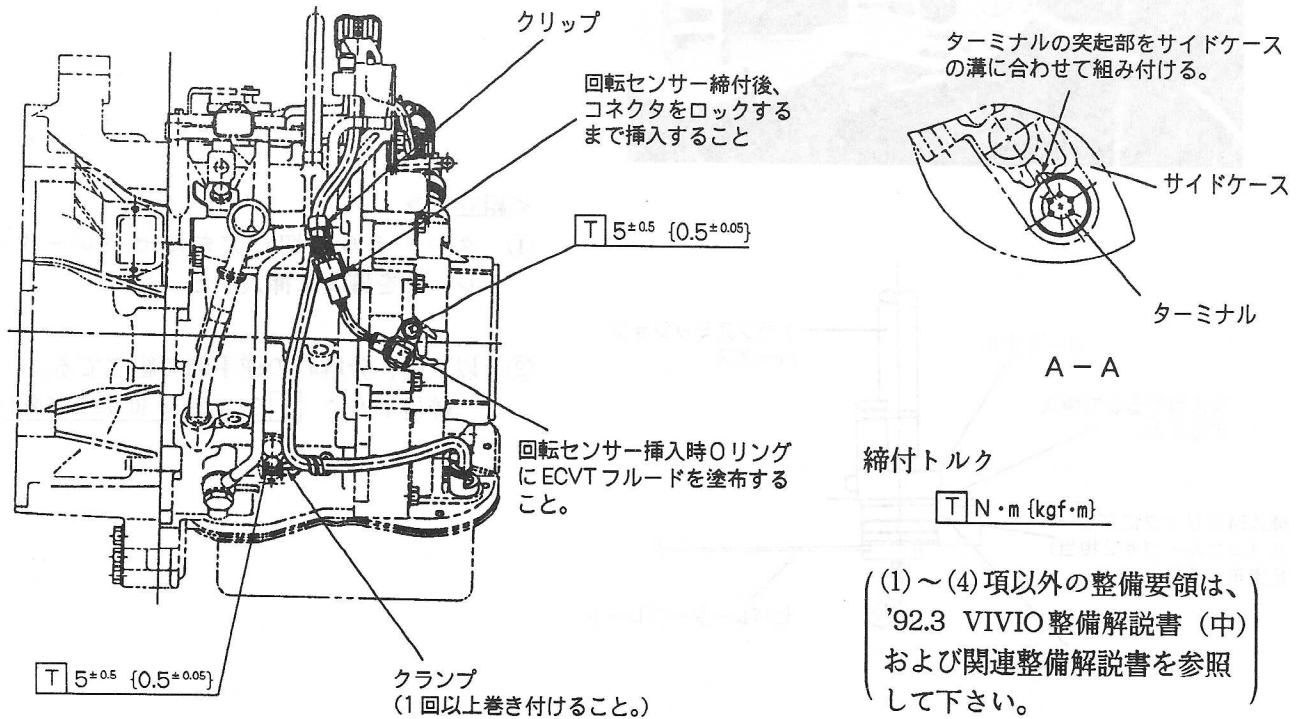
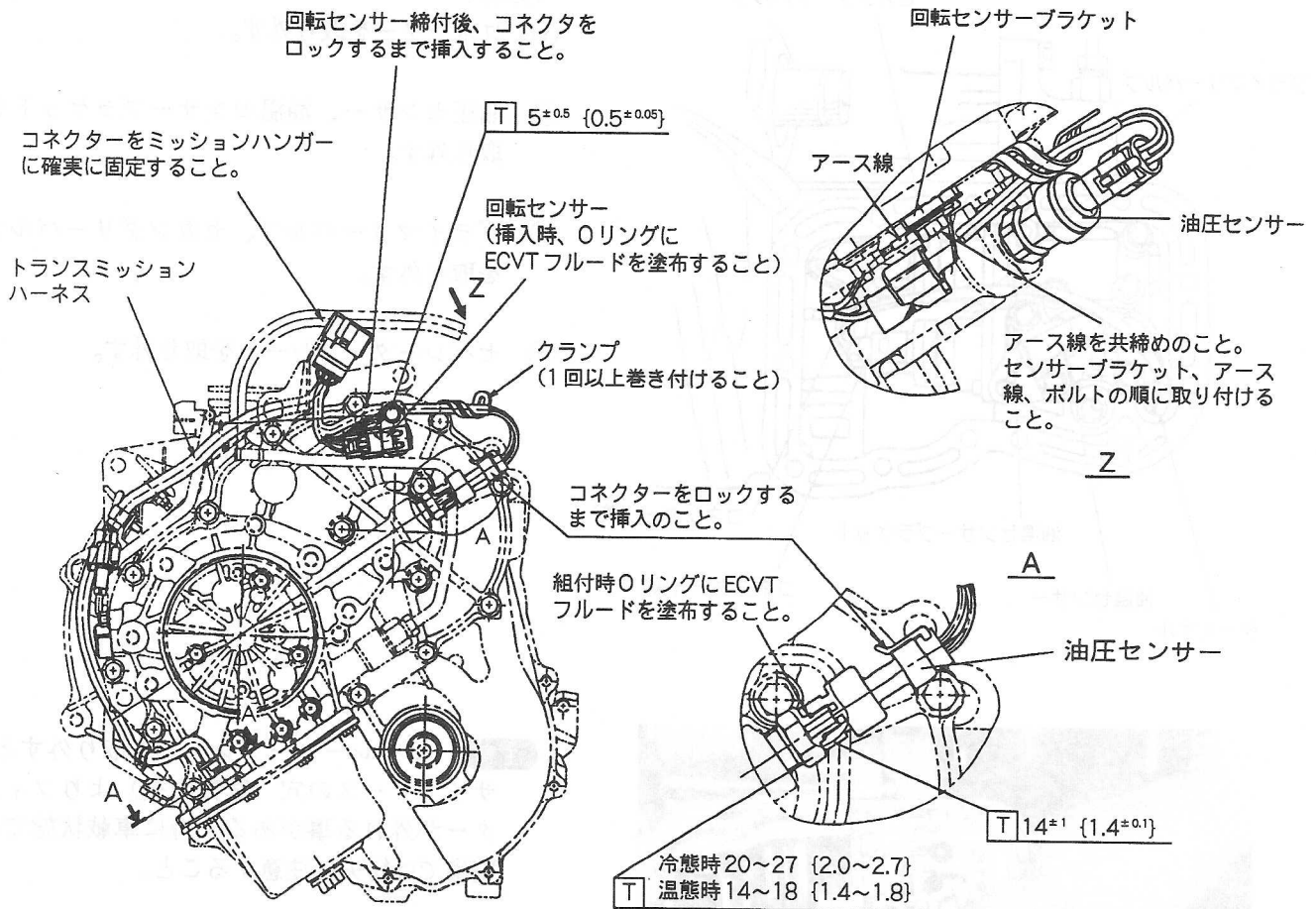
- ① ターミナルの切り欠きにセパレータープレートを実際に挿入する。

- ② 以下は、分解時の逆手順で組立てる。

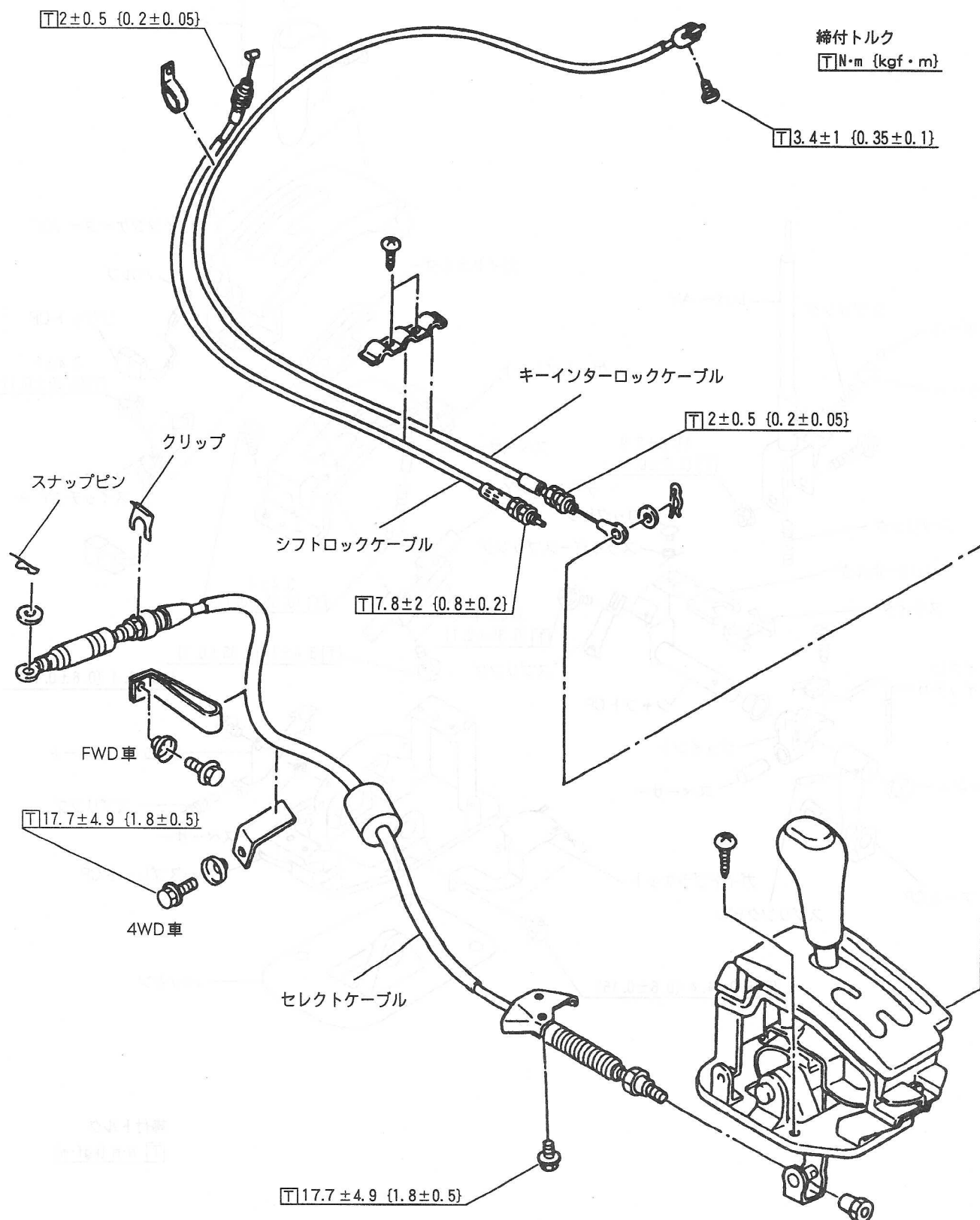
締付トルク T $9 \pm 0.5 \text{ N}\cdot\text{m}$ $\{0.9 \pm 0.05 \text{ kgf}\cdot\text{m}\}$

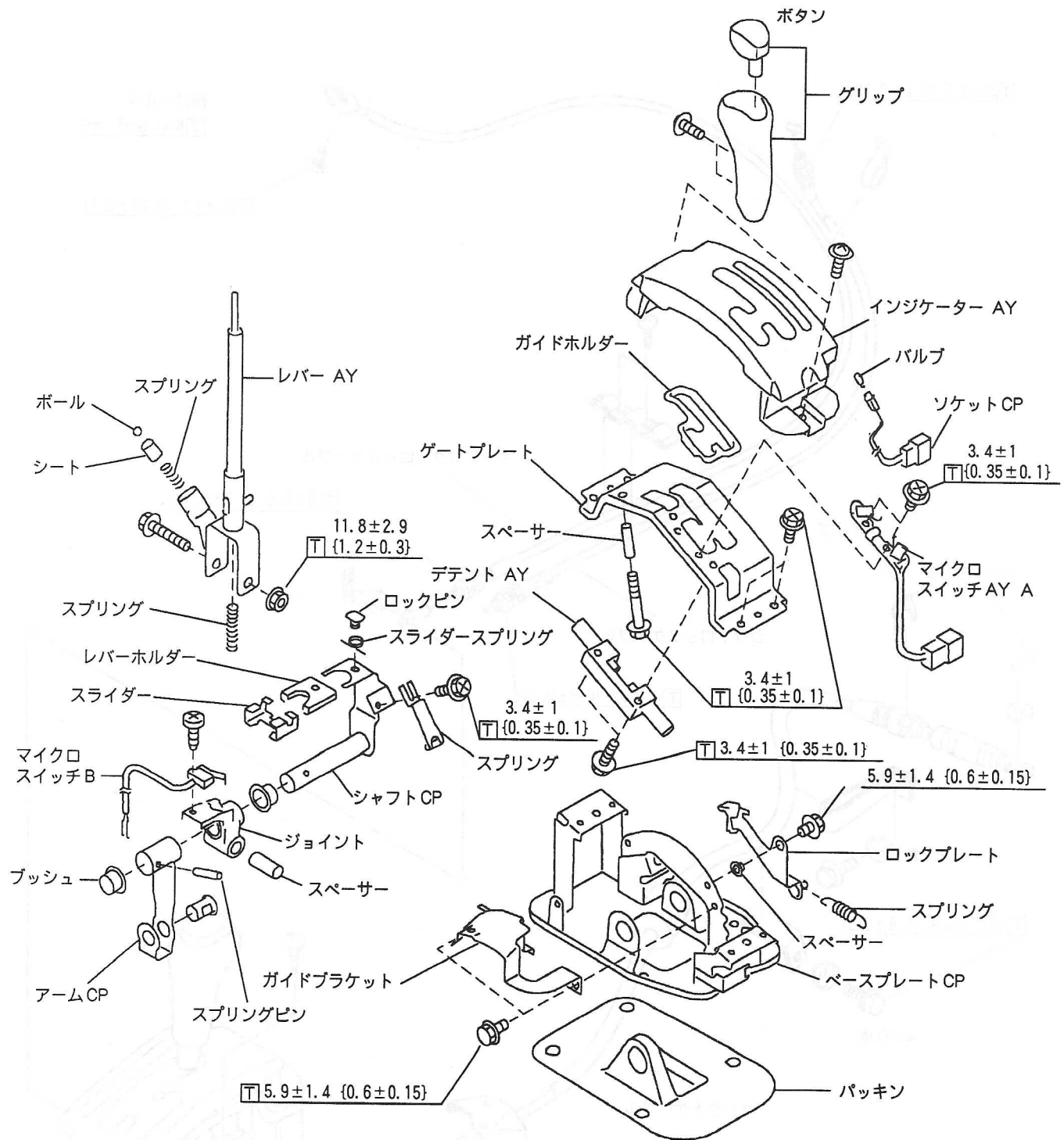


(4) トランスミッションハーネス&回転センサー、油圧センサー



[2] セレクトシステム (シフトロック、キーインターロックシステムを含む) ■ 構成部品





締付トルク
T N・m {kgf・m}

■ セレクトレバーの脱着

<取外し>

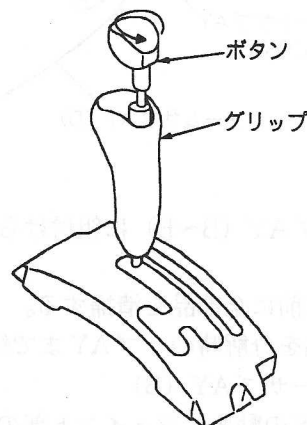
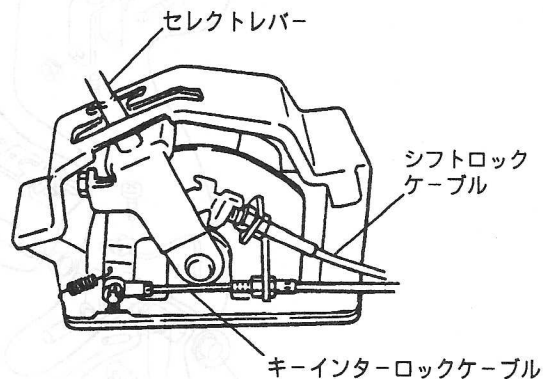
- (1) センターコンソールを取外す。
- (2) マットストッパーを取外し、中央部のマットを取外す。
- (3) インジケータイルミネーションランプのハーネスをコネクターから分離する。
- (4) セレクトレバーの取外し
 - ① 取外す前にレバーをNにしておく。
 - ② セレクトレバーとセレクトケーブルを分離する。
 - ③ セレクトレバーとボディを止めているスクリーン4本を外し、セレクトレバー AY を上方へ外す。
- (5) シフトロックケーブルおよびキーインターロックケーブルを外す。

注意

シフトロック、キーインターロックの作動不良防止のため、ケーブルに曲げくせをつけないこと。

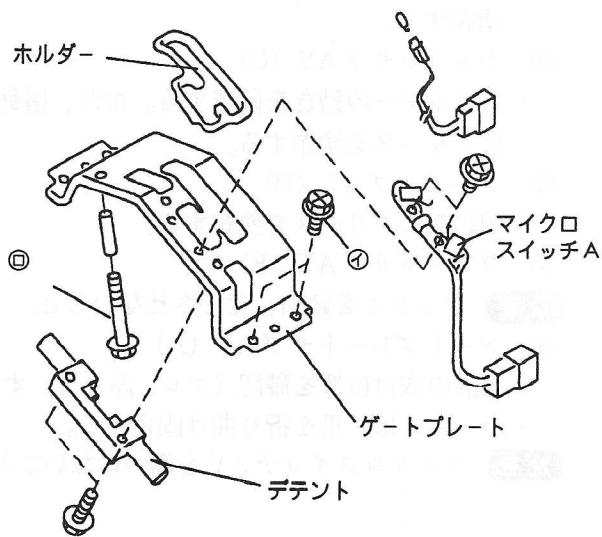
<分解>

- (1) グリップを止めているスクリーン2本を外し、グリップを下げ、ボタンを左廻し(反時計方向)して外し、グリップを取外す。
- (2) インジケータを外す。

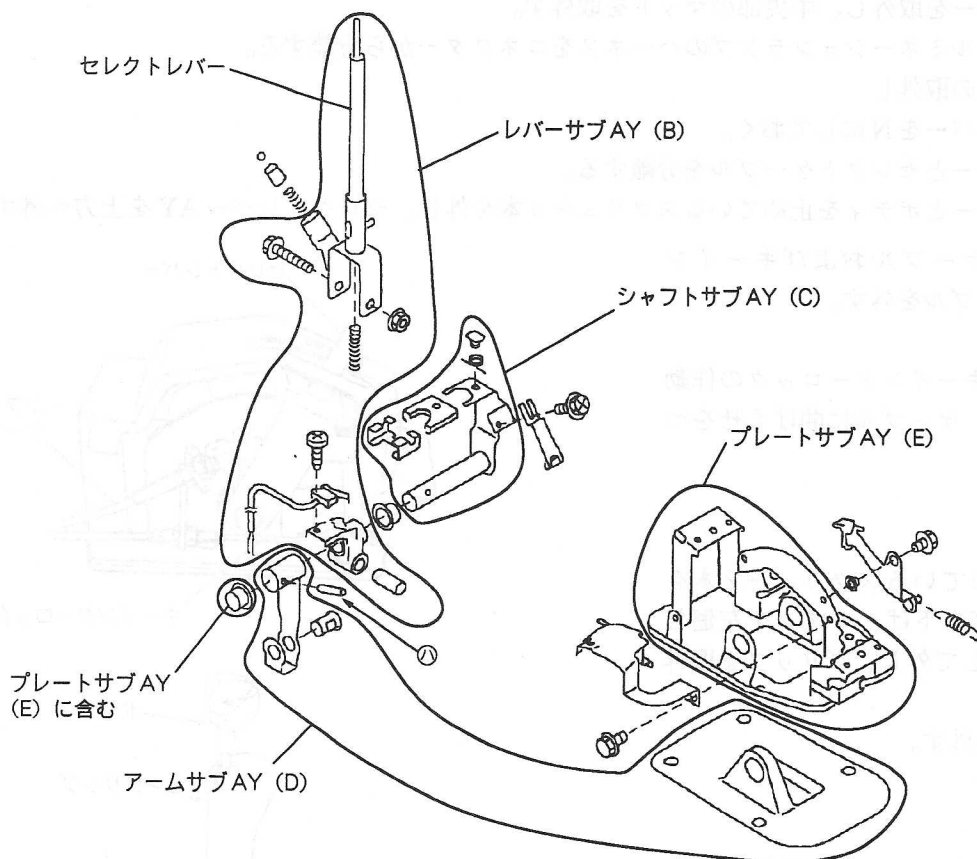


- (3) ゲートプレートの⑦固定スクリーン4本およびゲートプレートとガイドブラケットを止めている⑩ボルトを取外す。
 - ・ゲートプレートに組付けられている各部品を外す。
 - ・マイクロスイッチAは、マイクロスイッチB (ジョイント部共締め) と一緒に取外す。

ゲートプレートサブAY (A)



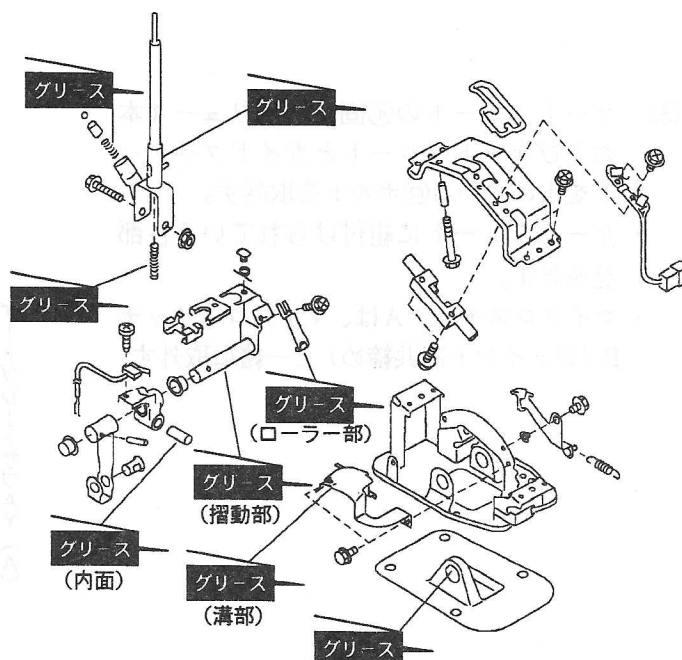
- (4) セレクトレバーのシャフト部（前後回転）を固定している④スプリングピン抜き、レバーサブAY (B)、シャフトサブAY (C)、アームサブAY (D) 及びプレートサブAY (E) に分解する。



・各サブAY (B～E) に組付けられている各部品を外す。

<組立て>

- (1) 組立て前に全部品を清掃する。
- (2) 各部品を分解時のサブAYまで組付ける。
 - ① レバーサブAY (B)
 - ・ロッドの動き、ジョイント部の回転、ガタの状態を確認する。また、摺動部にグリースを塗布する。
 - ② シャフトサブAY (C)
 - ・スライダーの動きを確認する。また、摺動部にグリースを塗布する。
 - ③ アームサブAY (D)
 - ・摺動部にグリースを塗布する。
 - ④ プレートサブAY (E)
 - 注意** ブッシュを破損、変形させないこと。
 - ⑤ ゲートプレートサブAY (A)
 - ・部品の取付位置を確認（ズレ、浮き等）する。
 - ・ハーネスは、爪を折り曲げ固定する。
 - 注意** マイクロスイッチAYを傷つけないこと。



- (3) サブAY部品 (B) ～ (E) をセットし、スプリングピンにて、固定する。

組付け後、シャフトサブAY (C) とアームサブAY (D) のガタを確認する。

注意 マイクロスイッチを傷つけないこと。

- (4) レバーサブAY (A) のデテント部に、スプリング、シート、ボールを組付ける。

・ グリースを塗布する。

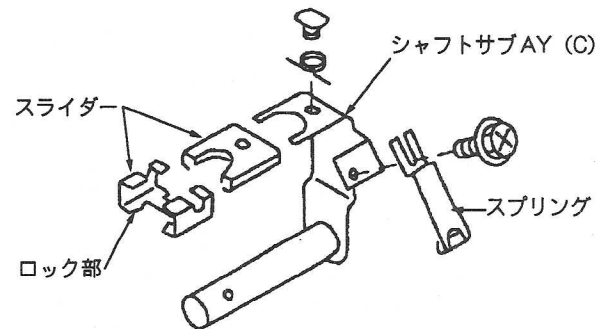
- (5) ガイドブラケットをベースプレートにボルト2本で締付ける。

・ 溝部にグリースを塗布する。

- (6) レバーサブAY (B) のレバーを“D”ポジション位置にセットし、節度感を利用してスプリングの位置を決め、ボルトにて、シャフトサブAY (C) に取付ける。

① 各ポジション位置を確認する。

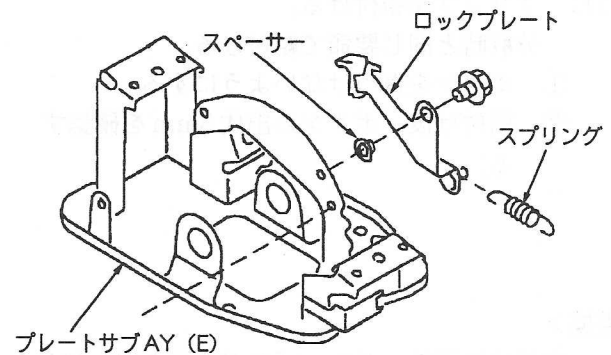
② スライダーのロック状態を確認する。



- (7) ロックプレートにスペーサを入れ、ボルトにてプレートサブAY (E) に締付ける。その後、スプリングを取付ける。

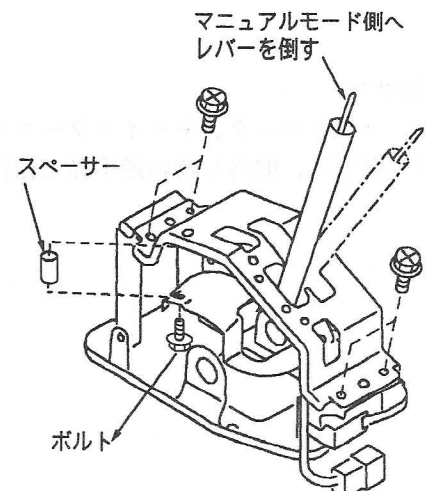
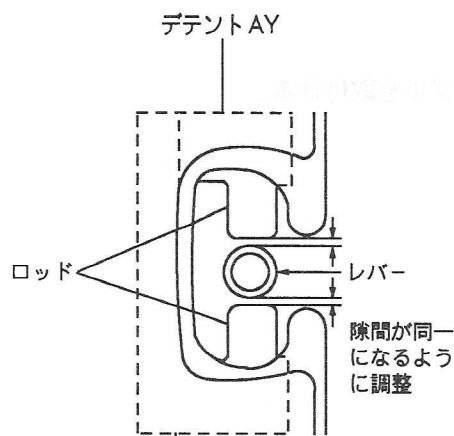
・ スペーサ部にグリースを塗布する。

・ ロックプレートが滑らかに回転することを確認する。

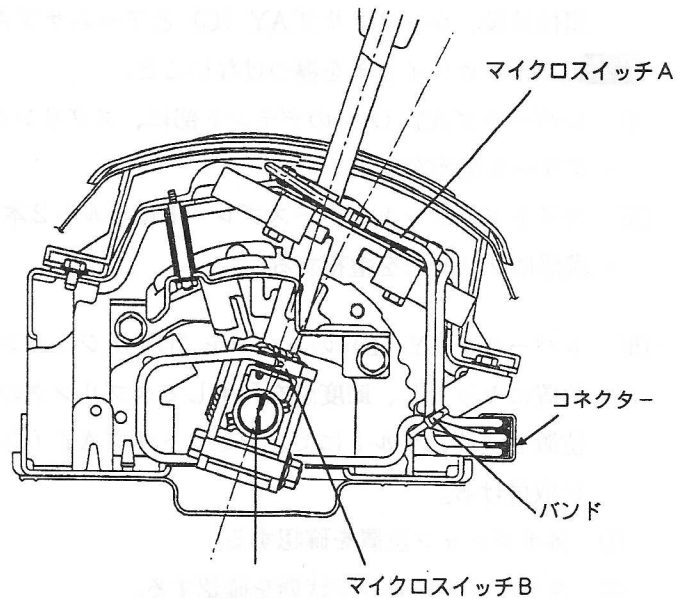


- (8) ゲートプレートサブAY (A) をプレートAYにスペーサとボルトを同時に組付ける (仮締め)

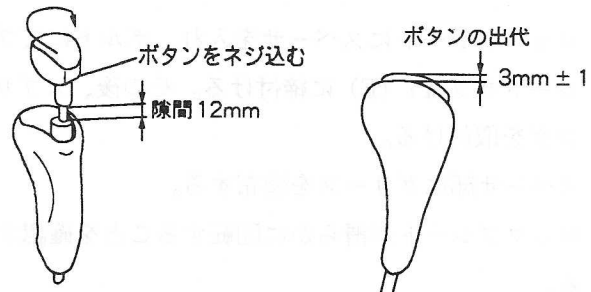
・ ゲートプレートサブAY (A) を組付ける時はレバーをマニュアルモード側に倒し、デテントAYのロッド間とレバーの隙間を調整しながらスクリューにて締付ける。



- (9) マイクロスイッチAYのハーネスを引廻し、コネクターをプレートサブAY(E)のコネクター取付プレートに組付け固定する。
 ・バンドでハーネスが動かない程度に軽く締める。
 (締付後、バンドの先端を約15mm程度のところでカットする。)



- (10) インジケータAYを組付ける。
 ・レバー部とのせり、隙間に注意する。
 (11) グリップを組付ける。
 分解時と同じ要領で組付ける。
 ① ボタンを傷つけないようにする。
 ② 組付け後、ボタンの出代3mmを確認する。



<点検>

- (1) 組付け終了後、グリップのボタンを押しながら、セレクトレバーをP-R-N-D-DsまたD-M、アップシフト(+)、ダウンシフト(-)まで作動させ、メーター内のインジケータポジションの一致、操作力等を点検する。
 ・ECVTモード:P-R-N-D-Ds各ポジションランプの点灯。
 ・マニュアルモード:レバーを左に倒した時に、メーター内のデジタル表示の点灯。

<組付け>

- (1) シフトロック、キーインターロックケーブルを取付ける。
 (2) 以下は、取外し時の逆手順で組付ける。